



令和3年度

学校要覧

国立大学法人 千葉大学教育学部附属特別支援学校

〒263-0001 千葉市稲毛区長沼原町312番地

TEL 043 (258) 1111

FAX 043 (258) 9303

e-mail : fuyou@ml.chiba-u.jp

<http://yougo.e.chiba-u.jp>

千葉大学教育学部附属特別支援学校校歌

三越左千夫 作詞
山崎八郎 作曲

♩ = 100~104

ふ た ぼ の め か ら き は の び て そ
し ほ う へ え だ を し げ ら せ て し か
こ ず え は た か く そ ら を さ し か

ら か ら や さ し い ひ の ひ か り
が や く あ お ほ に う た う か ぜ
お り も ゆ た か に ひ ら く は な

そ う だ そ う だ み ん な で み ん な で た の し く ま な び
そ う だ そ う だ み ん な で み ん な で た る し い こ と も
そ う だ そ う だ み ん な で み ん な で し っ か り よ か く

す く す く と の び る お お き な る
の り こ え て と り の あ つ ま る
ね を は っ て い つ か み の な る

き に な ろ う
き に な ろ う

校 歌

三越左千夫 作詞

双葉の芽から 木はのびて
空からやさしい 陽の光
そうだ そうだ
みんな で みんなで
楽しく学び すくすくと
のびる大きな 木になろう

四方へ枝を 茂らせて
輝く青葉に 歌う風
そうだ そうだ
みんな で みんなで
苦しいことも 乗り越えて
鳥の集まる 木になろう

こずえは高く 空をさし
薫りもゆたかに 開く花
そうだ そうだ
みんな で みんなで
しっかりと深く 根をはって
いつか実のなる 木になろう

目 次

1. 沿 革	3	
2. 本校の役割	5	
3. 教育目標	5	
4. 本校の特色	5	
5. 児童生徒の概要	6	
6. 教育実習年間計画	6	
7. 主な行事予定	7	
8. 小学部の生活	8	
(1) 学級編制と児童数	(3) 一日の生活の流れ	
(2) 週日課表	(4) 一年間の学校生活	
9. 中学部の生活	11	
(1) 学級編制と生徒数	(4) 校内実習及び産業現場等における実習	
(2) 週日課表	(5) 一年間の学校生活	
(3) 一日の生活の流れ		
10. 高等部の生活	15	
(1) 学級編制と生徒数	(4) 学級活動等	
(2) 週日課表	(5) 産業現場等における実習	
(3) 一日の生活の流れ	(6) 一年間の学校生活	
11. 進路・移行支援年間計画	19	
12. 卒業・修了生の進路	20	
(1) 卒業・修了時の進路	(2) 就職後の動向	
13. 卒業生への対応	21	
14. 児童生徒の入学募集等	21	
(1) 募集人員	(4) 入学者選考	(7) オープンスクール
(2) 応募資格	(5) 入学・教育相談	(8) 土曜スクール
(3) 募集時期	(6) 学校見学会	
15. 学校運営組織	22	
(1) 教職員等	(2) 校務分担	
16. 学校周辺案内図	24	

1. 沿革

昭和40年4月1日、附属小学校に特殊学級（知的障害）の開設が認可。学級開設準備を附属第一小学校（千葉市市場町26番地、現在千葉県立中央図書館所在地）において進める。同年10月15日、小学校下学年学級（児童数3、教官1）の開級式及び入学式を挙げる。翌41年度、小学校上学年学級が増設され、特殊学級校舎落成。42年度には、附属中学校特殊学級の開設許可。5月に、中学校特殊学級校舎落成、同一敷地内に小・中学校特殊学級校舎が設置。43年度、44年度に中学校特殊学級各1学級が増設。45年度に小学校中学校学級が増設認可。小学校3学級、中学校3学級の計6学級となった。47年度、学級数6、児童生徒数61名、教官数8名、職員数1名。この年、附属養護学校設立予算が認められ、翌48年度に、これまでの小・中学校特殊学級が養護学校として独立。平成19年4月1日より、附属特別支援学校に校名を変更。現在に至っている。

昭和48年4月1日	千葉大学教育学部附属養護学校開校 初代校長 宮本茂雄教授就任 学級数6、教官数12、職員数3、児童生徒数59 研究テーマ「教育課程の検討と再編成」 －生活単元学習の計画とその指導について－	5月17日	新校舎用地取得（18,996㎡）
		昭和56年4月1日	学級数9、教官数22、職員数4、非常勤講師3、児童生徒数69 研究テーマ「生活単元学習再考」 －子どもたちの生き生きとした姿をみつめて－
		9月30日	新校舎建設着工
5月22日	開校式挙げる	11月10日	「実践生活単元学習」（学習研究社）刊行
昭和49年4月1日	高等部開設認可（学年進行1年目） 学級数7、教官数15、職員数3、非常勤講師1、児童生徒数63 研究テーマ「教育課程の検討と再編成」 －小学部「子ども会単元による表現能力の指導」－ －中・高等部「のぞましい作業態度をのばすための指導計画」－	昭和57年4月1日	学級数9、教官数23、職員数4、非常勤講師4、児童生徒数69 研究テーマ「新しい学校生活づくり」 －教育課程編成を学校生活づくりと捉えて－
		6月29日	新校舎竣工
		7月26日	新校舎へ移転完了
昭和50年4月1日	高等部（学年進行2年目） 学級数8、教官数16、職員数4、非常勤講師1、児童生徒数64 研究テーマ 小学部「日常生活指導の指導課程の編成」 －中学部「体力を高めるための指導計画」－ －高等部「職場適応を高めるための指導」－	9月1日	職員数8（栄養士、技能補佐員含む）
		9月16日	校歌制定発表会挙げる（作詞 三越左千夫、作曲 山崎八郎）
4月11日	高等部作業棟落成式典挙げる		校旗制定
10月15日	特殊学級開級十周年記念式典挙げる（記念誌発行、記念植樹）	9月22日	新校舎落成記念・創立十周年記念式典挙げる
昭和51年4月1日	高等部（学年進行3年目） 学級数9、教官数20、職員数4、非常勤講師1、児童生徒数67 研究テーマ 前年度より継続 運動場開き挙げる（小運動会）	昭和58年3月31日	小出 進校長任期満了（二期5年） 運動場整備工事竣工（着工 昭和57年10月）
		4月1日	三代校長 白井哲之教授就任 学級数9、教官数24、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数71 研究テーマ 前年度より継続
昭和52年4月1日	学級数9、教官数21、職員数4、非常勤講師1、児童生徒数64 研究テーマ「重度化・多様化に対応する生活単元学習の実践的研究」	5月22日	運動場開き挙げる（小運動会）
		昭和59年2月26日	プール工事竣工（着工 昭和58年10月）
昭和53年3月31日	宮本茂雄校長任期満了（二期5年）	4月1日	学級数9、教官数25、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数73 研究テーマ 前年度より継続
4月1日	二代校長 小出 進教授就任 学級数9、教官数21、職員数4、非常勤講師1、児童生徒数67 研究テーマ「生活単元学習再考」 －子どもとともにつくる生活単元－ 研究紀要の他に、この年度より実践記録「実践メモ」を発行	5月31日	プール竣工記念式典挙げる
		昭和60年4月1日	学級数9、教官数25、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数69 研究テーマ 前年度より継続
昭和54年4月1日	学級数9、教官数21、職員数4、非常勤講師2、児童生徒数70 研究テーマ「生活単元学習再考」 －どの子も生き生きと生活することをねがって－	昭和61年4月1日	学級数9、教官数26、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数71 研究テーマ 前年度より継続
		昭和62年2月25日	「実践教育課程」（学習研究社）刊行
昭和55年4月1日	学級数9、教官数21、職員数4、非常勤講師3、児童生徒数70 研究テーマ 前年度より継続	4月1日	学級数9、教官数26、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数70 研究テーマ「学校生活の集団化と個別化」 －よりきめ細かな学校生活づくりを意図して－
		昭和63年3月31日	白井哲之校長任期満了（二期5年）
		4月1日	四代校長 小出 進教授就任 学級数9、教官数26、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数68

平成元年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数27、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数68	5月24日	- 子ども主体を支える状況づくりに努めて - 創立三十周年記念式典挙行 (記念誌発行)
平成2年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数27、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数71	7月17日	創立三十周年全校記念旅行 (清里方面)
平成3年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数27、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数71	平成15年 2月28日	「ものづくり 学校生活づくり」(K&H社) 刊行
平成4年 2月28日	研究テーマ 前年度より継続 「実践作業学習」(学習研究社) 刊行 学級数9、教官数27、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数71	4月1日	学級数9、教官数29、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数78
5月22日	研究テーマ「生活のための、生活による、生活の教育」 - 子ども主体の生活を大切に - 創立二十周年記念式典挙行 (記念誌発行)	平成16年 2月27日	研究テーマ 前年度より継続 「支援案の書き方 個別の支援計画」(K&H社) 刊行
平成5年 3月31日	小出 進校長任期満了 (二期5年)	4月1日	学級数9、教官数29、職員数7、非常勤講師4、児童生徒数71
4月1日	五代校長 久米 公教授就任 学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数69	平成17年 2月25日	研究テーマ 前年度より継続 「授業が変わる・単元が変わる」(K&H社) 刊行
平成6年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数7、非常勤講師1、児童生徒数69	4月1日	学級数9、校長1、教諭28、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数70
平成7年 3月7日	研究テーマ 前年度より継続 「子ども主体の生活単元学習」(学習研究社) 刊行	平成18年 2月24日	研究テーマ「一人ひとりの思いを大切にした豊かな学校生活づくり」 - 子ども主体の状況づくりを深めて - 「ニーズに取り組む 個への教育支援づくり」(K&H社) 刊行
4月1日	学級数9、教官数28、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数72	3月31日	太田俊己校長任期満了 (二期5年)
平成8年 3月31日	久米 公校長任期満了 (一期3年)	4月1日	八代校長 石井克枝教授就任 学級数9、校長1、教諭29、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数72
4月1日	六代校長 下村康夫教授就任 学級数9、教官数28、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数76	平成19年 2月23日	研究テーマ 前年度より継続 「知的障害教育・基礎知識Q&A」(K&H社) 刊行
平成9年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数74	4月1日	千葉大学教育学部附属特別支援学校に校名変更 学級数9、校長1、教諭28、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数69
平成10年 4月1日	研究テーマ「生活のための、生活による、生活の教育 II」 - 一人ひとりの主体的活動を願う支援の最適化 -	平成20年 2月22日	研究テーマ 前年度より継続 「『できる状況づくり』Q&A」(K&H社) 刊行
4月1日	学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数77	4月1日	学級数9、校長1、教諭28、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数70
平成11年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数76	10月29日	研究テーマ 前年度より継続 全日本特別支援教育連盟「研究奨励賞」受賞 (京都市大会)
平成12年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、教官数28、職員数8、非常勤講師1、児童生徒数72	平成21年 2月20日	「生活単元学習・作業学習の進め方Q&A」(K&H社) 刊行
平成13年 3月31日	研究テーマ 前年度より継続 下村康夫校長任期満了 (二期5年)	4月1日	学級数9、校長1、教諭27、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数67
4月1日	七代校長 太田俊己教授就任 学級数9、教官数29、職員数7、非常勤講師1、児童生徒数76	平成22年 2月19日	研究テーマ 前年度より継続 「どの子ども主役の学校生活づくり」(K&H社) 刊行
平成14年 2月22日	研究テーマ 前年度より継続 「実践生活中心教育」(学習研究社) 刊行 「生活中心教育の原理」(K&H社) 刊行	4月1日	学級数9、校長1、教諭29、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数73
4月1日	学級数9、教官数29、職員数7、非常勤講師1、児童生徒数75	平成23年 2月18日	研究テーマ「共に豊かに生きる学校生活をめざして-子どもの思いに寄り添い、子ども主体を支える-」 「続ものづくり 学校生活づくり」(K&H社) 刊行
研究テーマ「子どものための、子どもによる、子どもの学校生活」	7月18日	3月31日	石井克枝教授任期満了 (二期5年)
		4月1日	九代校長 太田正己教授就任 学級数9、校長1、教諭28、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数71
		平成24年 4月1日	研究テーマ 前年度より継続 学級数9、校長1、副校長1、教諭28、職員数6、非常勤講師2、児童生徒数72
			研究テーマ 前年度より継続 創立四十周年記念式典挙行 (記念誌発行)

平成25年 3月31日	太田正己校長退任		
4月1日	十代校長 北島善夫教授就任 学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数68 研究テーマ 前年度より継続	平成30年 3月31日	域・教科を合わせた指導の授業づくり 北島善夫教授任期満了(二期5年) 十一代校長 細川かおり教授就任 学級数9、校長1、副校長1、教諭27、職員数8、非常勤講師2、児童生徒数53 研究テーマ 前年度より継続 大規模改修工事 着工
平成26年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭26、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数64 研究テーマ 前年度より継続	平成31年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭28、職員数6、非常勤講師2、児童生徒数53 研究テーマ「深い学びを支える知的障害特別支援学校の授業づくりー各教科等を合わせた指導を中心にー」
平成27年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭25、職員数6、非常勤講師3、児童生徒数58 研究テーマ 今日の課題に応える「領域・教科を合わせた指導」の授業づくり	令和2年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭28、職員数6、非常勤講師2、児童生徒数53 研究テーマ 前年度より継続 大規模改修工事 終了
平成28年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭25、職員数7、非常勤講師3、児童生徒数54 研究テーマ 前年度より継続	令和3年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭28、職員数6、非常勤講師3、児童生徒数54 研究テーマ 前年度より継続
平成29年 4月1日	学級数9、校長1、副校長1、教諭27、職員数7、非常勤講師2、児童生徒数54 研究テーマ 確かな学びを支える領		

2. 本校の役割

本校は、知的発達に障害のある児童生徒を対象に、常によりよい教育実践をめざすことに加え、国立大学法人千葉大学教育学部の目的に沿い、附属学校として次の役割を追求する。

- (1) 教育学部の教員及び学生とともに実践的研究を行う。
- (2) 教育の実践的研究を推進し、その成果の公開・発信に努める。
- (3) 教育実習を充実し、有為な教員の養成を推進する。
- (4) 研究・研修・交流等を通して、教員の資質向上と人材育成に努める。
- (5) 県内や地域における特別支援教育の推進に努める。

3. 教育目標

児童生徒一人ひとりが、仲間とともに活動する中で、個性を存分に発揮し、目当てと見通しをもちながら、自立的・主体的に生活できるようになる。

4. 本校の特色

児童生徒一人ひとりが力と個性を存分に発揮し、心豊かに育つよう学校生活の充実に努める。児童生徒の自立的・主体的な生活の実現をめざし、日々の生活を整える。

- (1) 小学部では生活単元学習、遊びの指導、日常生活の指導を、中学部では生活単元学習と作業学習を、高等部では作業学習をそれぞれ教育課程の中心に据えて学校生活を整え、児童生徒の充実した学校生活の実現に努めている。
- (2) 児童生徒が、一定期間、一定のテーマをもって、できる限り自分自身の力で主体的に生活できるようにしている。「運動会」「ふよう祭」などの、学校全体で取り組む生活単元学習や学校行事は、児童生徒会の役員会が中心となって企画・運営している。児童生徒会の各委員会や学級が、それらの準備等の活動に取り組み、児童生徒が中心となって学校生活を進めている。
- (3) 卒業後、働く活動を中心とした社会生活を確実につなげるよう、働く活動を学校生活に大きく位置づけるとともに、社会とかかわる生活を大切にしている。教育活動を地域の社会にも求め、中学部と高等部では、企業や施設などにおける現場実習を積極的に実施している。

5. 児童生徒の概要

本校は、小学部、中学部及び高等部の3部からなる。小学部は、低学年、中学年及び高学年の3学級からなり、中学部及び高等部は、学年別に3学級で編制されている。1学級の定員は、小学部及び中学部が各々6名、高等部が8名である。

(1) 学級編制

性別	小学部							中学部				高等部				合計	
	低		中		高			計	1	2	3	計	1	2	3		計
	1	2	3	4	5	6											
男	2	3	3	2	3	2	15	3	4	2	9	7	4	5	16	40	
女	1	0	0	1	0	1	3	3	2	2	7	1	3	0	4	14	
計	3	3	3	3	3	3	18	6	6	4	16	8	7	5	20	54	

(2) 居住地

	千葉	船橋	習志野	四街道	佐倉	成田	八千代	木更津	合計
小学部	10	3	0	4	1	0	0	0	18
中学部	5	0	3	2	3	0	2	1	16
高等部	13	0	2	1	2	1	1	0	20
計	28	3	5	7	6	1	3	1	54

(3) 通学時の交通機関

交通機関	小学部				中学部				高等部				合計
	低	中	高	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
スクールバス	2	2	2	6	1	1	1	3	0	0	0	0	9
保護者送迎	4	3	4	11	4	3	3	10	0	3	0	3	24
公共交通機関	0	1	0	1	1	2	0	3	8	4	5	17	21
計	6	6	6	18	6	6	4	16	8	7	5	20	54

6. 教育実習年間計画

注 年度当初の予定

年次・専攻	班別	人数	実習期間
4年次副専攻 (本実習)	1	11	5月6日～5月19日
	2	8	10月25日～11月8日
第2本実習	1	11	8月27日～9月17日
	2	9	11月10日～12月3日
2年次主専攻観察		20	1月13日、1月14日
3年次副専攻 観察	1	未定	1月18日、1月19日
	2		1月20日、1月21日
第1本実習		20	2月15日～2月21日

7. 主な行事予定

注 年度当初の予定

①②③は小・中・高の各部

月	行 事	月	行 事
4月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 始業式（前期） ◦ 入学式 ◦ 通学支援 ◦ 児童生徒会役員選挙 ◦ ①②③新入生歓迎会 ◦ 発育測定 ◦ 定期健康診断 ◦ PTA 総会 ◦ 安全の日（年6回） ◦ 誕生会（毎月） ◦ 体力・運動能力調査 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 終業式（前期） ◦ 秋休み ◦ 始業式（後期） ◦ ①授業研究会 ◦ 通学支援
		11月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ ③授業研究会 ◦ 「ふよう祭」（学校祭） ◦ ①秋の遠足
		12月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ ①音楽発表会 ◦ 冬休み（12月23日～1月6日）
		1月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 通学支援 ◦ 冬休み作品展
5月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 運動会 ◦ 通学支援 ◦ ②3学年修学旅行（2泊3日） ◦ ③1学年校内実習 ◦ ③2・3学年産業現場等における実習 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 第49回公開研究会 ◦ 授業参観日
		3月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ ①②③お別れ会 ◦ 卒業式 ◦ 修了式 ◦ 春休み（3月25日～）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 授業参観週間 ◦ プール開き ◦ 入学募集要項公示 ◦ 学校見学会 ◦ ①6学年修学旅行（2泊3日） 		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ ③3学年修学旅行（3泊4日） ◦ ③1学年（1泊2日） 2学年（2泊3日）宿泊学習 ◦ ②「宿泊学習」（2泊3日） ◦ ①「校内宿泊学習」（1泊2日） ◦ 夏休み（7月17日～8月25日） ◦ 土曜スクール ◦ 卒業生の集い 		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 通学支援 ◦ 土曜スクール 		
9月	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 夏休み作品展 ◦ オープンスクール ◦ ③「歩く合宿」（3泊4日） ◦ ①「校外宿泊学習」（1泊2日） ◦ ②千葉県特別支援学校スポーツ大会 ◦ ②授業研究会 ◦ ②1学年校内実習 ◦ ②2・3学年産業現場等における実習 ◦ ③産業現場等における実習 		

8. 小学部の生活

家庭との連携を図り、健康で充実した学校生活を通して、基本的な生活習慣を身に付け、自立的な生活の基盤を作ることができるよう、以下に重点を置く。

- 自分のことを自分で行おうとする意欲と技術を養い、身辺自立を図る。
- 目当て見通しをもって、安心して学校生活を送ることができるようにする。
- 仲間への興味関心を高め、人と関わる力や役割を担う力を育てる。
- 健康な身体をつくり、豊かな心を養うことを通して、よりよく社会生活を送る基盤を培う。

(1) 学級編制と児童数

学級	学年	男	女	小計	合計
低学年	1年	2	1	3	6
	2年	3	0	3	
中学年	3年	3	0	3	6
	4年	2	1	3	
高学年	5年	3	0	3	6
	6年	2	1	3	
合計		15	3	18	18

(2) 週日課表

《低・中学年学級》

	月	火	水	木	金
9:00	登校				
9:30	着替え・係活動				
9:40	朝の会				
9:50	全校朝会 (月2回)				
10:15	朝の会	おはよう広場(体育)			
10:30	生活単元学習／遊びの指導				
11:45	給食準備				
12:00	給食・昼休み				
13:00	チャレンジタイム(自立活動/生活単元学習)				
13:30	着替え・帰りの会				
14:00	下校				

《高学年学級》

	月	火	水	木	金
9:00	登校				
9:30	着替え・係活動				
9:40	朝の会				
9:50	全校朝会 (月2回)				
10:15	朝の会	おはよう広場(体育)			
10:30	生活単元学習／遊びの指導				
11:45	給食準備				
12:00	給食・昼休み				
13:00	チャレンジタイム(自立活動/生活単元学習)				
13:30	児童生徒会 (月2回)				
13:50	着替え 帰りの会				
14:00					
14:30	着替え・帰りの会		下校	着替え・帰りの会	
15:00	下校		下校		

(3) 一日の生活の流れ

① 登校・着替え・係活動・朝の会（9：00～9：50）

登校後、連絡帳などを所定の場所に置き、着替えを行う。着替えが終わったら、ごみ捨てや教室の掃除、エプロンたたみ、健康観察カードの記入などの係活動を行う。学級ごとの朝の会では、出欠や天気の確認、サインや写真・絵カードなどで一日の活動への見通しをもてるようにし、期待感を高める。

② 全校朝会（月2回程度 月曜日 9：40～10：15）

児童生徒会役員の手配・進行により、「校長先生の話」「児童生徒会長の話」「その時期の生活に関連した児童生徒の活動のお知らせ」「ゲーム」などを行う。

③ おはよう広場（火～金曜日 9：50～10：30 ※全校朝会の無い月曜日にも実施）

音楽に合わせてリトミック運動をした後、サーキットやボール運動、リレー、短距離走、長距離走など、期間を設けて、様々な運動を行う。

④ 生活単元学習／遊びの指導（月～金曜日 10：30～11：45）

「生活単元学習」は、時期ごとにテーマを決めて活動を進めていく。全校で取り組む単元と、学級や小学部全体で取り組む単元があり、年間計画表（p10参照）のように組んでいる。

「遊びの指導」は、年3回、体育館やグラウンドに「遊び場」を設定して、小学部全体で取り組む。一人ひとりの遊びの段階に合わせた道具や場を設定し、主体的に遊びを展開でき、子ども同士の関わりが生じやすくなるように工夫している。

⑤ 給食・昼休み（11：45～13：00）

給食は、学級ごとに教室で食べる。食器や食缶を選び、台拭きや配膳などの準備を分担して行う。子どもに応じて、食事の量を調節したり、好き嫌いが少なくなるように配慮したり、スプーンやはしなどの使い方を支援したりする。

食後は、片付けをしてから歯を磨き、昼休みをとる。好きな本を読んだり、遊具で遊んだりするなど、自由に過ごす。

⑥ チャレンジタイム（低・中学年 月～金曜日 13：00～13：30 高学年 月・火・木・金 13：00～14：30 水 13：00～13：30）

身体の動きや手指の操作性、ことば・かずなど一人ひとりの課題に応じて学習内容を設定し、取り組んでいる。また、学級ごとにテーマを決めて活動したり、校外学習などの事前学習を行ったりすることもある。高学年は、教室の掃除やエプロンの洗濯などをする時間も設けている。

⑦ 着替え・帰りの会（低・中学年 月～金曜日 13：30～14：00 高学年 月・火・木・金 14：30～15：00 水 13：30～14：00）

着替えをして、連絡帳や着替えをバッグに入れ、帰りの会で今日の活動の振り返りや翌日の予定を確認する。

⑧ 児童生徒会（月2回程度 月曜日 高学年学級のみ 13：00～13：50）

役員会を中心に「図書・掲示」「美化」「元気100%」「リサイクル」の4つの委員会がある。小学部高学年及び中学部・高等部と共に取り組む。

- ◎役員会
- | | |
|--|--------------------------------------|
| ・児童生徒会の企画・運営
・全校朝会の運営・進行
・選挙管理
・学校行事の企画運営 | ○図書・掲示委員会（本の整理、掲示板や校内の掲示・装飾） |
| | ○美化委員会（学校の掃除や環境整備などの美化活動） |
| | ○「元気100%」委員会（朝の運動の進行、保健・給食目標の校内掲示など） |
| | ○リサイクル委員会（エコキャップやアルミ缶の収集など） |

*役員会は、会長1（高）、副会長2（中・高）、学部代表3（小・中・高）の計6名で構成される。役員は、全校児童生徒の選挙により選出され、任期は1年である。

⑨ 道徳（教育活動全体を通じて各学習の中で取り組む）

自分自身に関すること、人との関わりに関すること、集団や社会との関わりに関すること、生命や自然との関わりに関することを個々の実態に応じてねらいをもって取り組む。

(4) 一年間の学校生活

注 年度当初の予定

月	学 校 生 活 の テ ー マ			行 事 等
	低 学 年 学 級	中 学 年 学 級	高 学 年 学 級	
4	4/13~4/26 生活単元学習（新学期準備など） ※各学級で行う			前期始業式（4/7） 入学式（4/8） 新入生歓迎会（4/12）
5	4/27~5/18 生活単元学習（運動会）			
5	5/19~6/4 生活単元学習（制作活動、調理、音楽活動など） ※各学級で行う			運動会（5/15）
6	6/7~6/25 遊びの指導			
7	6/28~7/14 体育（プール）			6年生修学旅行（6/23~25） 校内宿泊学習（7/8~9） 授業終わりの会（7/16）
7	7/17~8/25			
8	夏 休 み			
9	8/30~9/21 生活単元学習「草ぶえの丘に泊まろう（仮）」 ※学部全体で行う			授業はじめの会（8/26）
9	9/22~10/11 生活単元学習（制作活動、調理、音楽活動など） ※各学級で行う			校外宿泊学習（9/16~17）
10	10/14~10/17 秋 休 み			前期終業式（10/13）
10	10/19~11/9 遊びの指導			後期始業式（10/18）
11	11/10~11/16 生活単元学習（ふよう祭に向けて） ※学部全体で行う			ふよう祭（11/13） 秋の遠足（11/18）
12	11/22~12/20 生活単元学習「音楽発表会をしよう（仮）」 ※学部全体で行う			小学部発表会（12/17）
12	冬 休 み			授業終わりの会（12/22）
1	1/12~2/1 生活単元学習（制作活動、調理、音楽活動など） ※各学級で行う			授業はじめの会（1/7）
2	2/2~2/26 遊びの指導			公開研究会（2/18）
3	3/1~3/9 生活単元学習「お別れ会をしよう」		「卒業制作・進級制作を作ろう」 ※「お別れ会」の練習も行う	小学部お別れ会（3/8）
3	3/14~3/23 学級活動（1年のまとめ、掃除など） ※各学級で行う			卒業式（3/10）
3	3/25~ 春 休 み			修了式（3/24）

※児童の興味・関心や教師のねらいなどによって各単元のテーマを決め、学習内容を設定しています。

9. 中学部の生活

健康で、日々充実した学校生活を過ごし、小学部、小学校段階で身に付けた生活力をさらに高め、より自立的に生活できるよう、以下に重点を置く。

- 学校生活の計画に参加し、自分の考えや意見を伝えるなどして、主体的に生活できるようにする。
- 目標をもって、自分の力を最大限に発揮し、自立的に生活できるようにする。
- 仲間との生活を楽しみ、集団生活でのルールを守り、自分の役割を果たせるようにする。
- 心身の健康の保持に努め、その態度や習慣を身に付けるようにする。
- 校内・校外実習を通して働くことに興味をもったり、働く喜びを味わったりし、高等部で行う実習の基礎を学ぶようにする。
- 家庭との協力関係を深め、丁寧な情報交換を行い、卒業後の進路について共通理解を得られるようにする。

(1) 学級編成と生徒数

学 年	男	女	計
1 年	3	3	6
2 年	4	2	6
3 年	2	2	4
合 計	9	7	16

(2) 週日課表

曜 時	月	火	水	木	金
9:00	登 校				
9:30	着替え・朝の会				
9:40	全校朝会 (月2回)	朝の運動(保健体育)			
10:15		生活単元学習			
	作業学習				
12:00	給食・昼休み				
13:00	児童生徒会 (月2回)	チャレンジタイム ^{※1} (国語・数学等/自立活動)			発見 タイム (職・家/ 総合的な 学習の時間)
13:50	学級活動 (月2回)	「音楽/美術/保健体育」 ^{※2}			
14:30	清掃・着替え・帰りの会				
15:00	15:00 下校				

※1 時期によって、個別・グループ別で実施

※2 学年ごとやグループ別で活動し、学習内容は時期によって設定

(3) 一日の生活の流れ

① 登校・日常生活の指導・朝の学習・朝の会（9：00～9：30）

登校後、連絡帳・日記帳を所定の場所に提出する。その後更衣や一日の生活に向けた準備をする。朝の学習では、生徒の実態に応じた学習課題や学級の係活動に取り組む。

朝の会は学級ごとに行う。出欠や一日の活動の流れを確認し、見通しをもって生活や学習ができるようにする。

② 全校朝会（月2回程度 月曜日 9：40～10：15）

内容は、小学部の項と同じ（p9参照）。

③ 朝の運動（保健体育）（9：30～10：15）

健康の保持・増進及び望ましい運動習慣を身に付けるためにラジオ体操やランニングなどを行い、気持ちの良い一日が始められるようにする。ランニングは、走る周数を決めるなどし、個々のペースで取り組む。高等部と合同で活動する。

④ 生活単元学習（10：15～12：00）

時期ごとに生活のテーマを設定し、活動に取り組む。学級ごとに取り組んだり、学部全体、全校で取り組んだりする。「作業学習」とともに、中学部の生活の中心的な活動となっている。

⑤ 作業学習（10：15～12：00）

作業班は「えんげい班」「やきもの班」の2班がある。作業班の所属は学年を越えた縦割りで編成し、生徒の希望や課題、家庭からの要望、教師のねらいなどを考慮しながら決定する。「生活単元学習」とともに、中学部の生活の中心的な活動となっている。

えんげい班 草花の栽培に主に取り組んでいる。種類や時期に応じて播種による栽培や、苗を植えかえての栽培を行う。

やきもの班 石膏型を用いた泥しょう鑄込み成形、機械ろくろによる成形、たたら成形などによりカップや皿、小鉢などを製作している。

⑥ 給食・昼休み（12：00～13：00）

身支度や手洗いをし、衛生面に気を付けながら、食器や食缶の運搬、台拭き、配膳などの準備や片付けを全員で行う。食器の扱いなどを含む、食事のマナーも身に付けられるようにする。

⑦ 児童生徒会（月2回程度 月曜日 13：00～13：50）

内容は、小学部の項と同じ（p9参照）。

⑧ チャレンジタイム（月曜日～木曜日 13：00～13：50）

主に社会生活に必要な文字や数量の学習、分類するなどの基礎的な認知課題に取り組む。また、時期によっては学年を越えた縦割りの小集団で学習に取り組む。友だちや教師とやりとりする活動やゲーム的な活動を通して、コミュニケーションや集団参加などの社会性を身に付ける。

⑨ 学級活動（月2回程度 月曜日 13：50～14：30）

学級での活動を中心にして望ましい人間関係を育てたり、集団の一員として活動し、自主的で実践的な生活態度を育てたりする。主に、掃除などの身近な生活に関わる活動や学習の導入やまとめの活動に取り組む。

※⑩～⑫は児童生徒会のない月曜日および火～木の13：00～13：50に、諸行事や時期に合わせ題材化して取り組む

⑩ 音楽（月曜日～木曜日 13：50～14：30）

時期や諸行事と関連させて合奏やダンス、身振りを交えた合唱や鑑賞などに取り組む。

⑪ 美術（月曜日～木曜日 13：50～14：30）

時期や諸行事と関連させて、材料や用具を使い造形活動に取り組んだり、造形や作品などを鑑賞したりする活動に取り組む。

⑫ **保健体育**（月曜日～木曜日 13：50～14：30）

時期や諸行事と関連させて、ボール運動やダンスなど様々な運動に取り組み、社会自立に必要な体力や運動に親しむ態度を身に付ける。

⑬ **発見タイム**（職業・家庭／総合的な学習の時間）（金曜日 13：00～14：30）

ボランティア活動や交流学習など社会とつながりのある体験的な活動に、年間を通して取り組む。交通ルールや公共機関の利用、人との接し方など、社会のルールやマナーについて学習する。また体の発育・発達、風邪の予防など健康についての学習や、行事の事前・事後学習及び余暇を含めた卒業後の生活について学ぶ進路学習にも取り組む。

⑭ **清掃・着替え・帰りの会**（14：30～15：00）

自分たちの教室の他、各学級に割り当てられた場所の清掃に取り組む。清掃が済んだ生徒から登下校用の服装に着替える。帰りの会は一日の振り返りや明日の日程確認を各学級単位で行う。

⑮ **道徳**（教育活動全般）

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、教育活動全般を通して、道徳的判断力や心情、実践意欲と態度を身に付ける。自分自身に関する事、人との関わりに関する事、集団や社会との関わりに関する事、生命や自然との関わりに関する事を個々の実態に応じてねらいをもって取り組む。

(4) **校内実習及び産業現場等における実習**

◦時期 9月～10月

◦期間、方法など

1年生 3週間 全員が校内での実習に取り組む。

2年生 3週間 全員が同一事業所（企業）で担任と共に実習する。

3年生 3週間 全員が同一事業所（企業）で担任と共に実習する。

(5) 一年間の学校生活

注 年度当初の予定

月	学校生活のテーマ						行事など
	生活単元学習			作業学習			
	1年	2年	3年	えんげい班	やきもの班		
4	4/8~4/14 新学期準備	4/7~4/9 新学期準備	4/7~4/9 新学期準備	4/12~4/27 活動を覚えよう		前期始業式 (4/7) 入学式 (4/8) 入学を祝う会 (4/14) PM	
5	4/28~5/18 運動会に向けて					運動会 (5/15) 中3修学旅行 (5/26~28)	
	5/19~5/31 学年生単	5/19~5/31 学年生単	5/19~5/31 学年生単				
6	6/23~7/12 学部生活単元学習① (宿泊学習に向けて)			6/1~6/22 夏市に向けて		夏の販売会 (6/19) プール開き	
7	7/13~7/15 学級活動	7/13~7/15 学級活動	7/13~7/15 学級活動			中学部宿泊学習 (7/7~7/9) 授業終わりの日 (7/16)	
8	7/17~8/25 夏 休 み						
9	8/30~9/16 学部生活単元学習②					授業はじめの日 (8/26) スポーツ大会 (9/17) 実習激励会 (9/27) PM 校内・現場実習 (9/28~10/8)	
	9/21~10/12 校内実習 産業現場等における実習						
10	10/14~10/17 秋 休 み						
11				10/19~11/16 ふよう祭に向けて		後期始業式 (10/18) ふよう祭 (11/13)	
				11/17~12/17 冬市に向けて			
12	12/20~12/21 学級活動	12/20~12/21 学級活動	12/20~12/21 学級活動			駅伝大会 (12/2) 予備日 (12/9)	
	12/23~1/6 冬 休 み						
1				1/12~1/28 冬市に向けて		授業終わりの日 (12/22) 授業はじめの日 (1/7)	
2	1/31~2/22 学部生活単元学習③					冬市 (1/21) 作業納会 (1/28) 公開研究会 (2/18)	
3	2/24~3/10 学年生単	2/24~3/10 学年生単	2/24~3/10 学年生単			卒業を祝う会 (3/9) 卒業式 (3/11) 修了式 (3/24)	
	3/14~3/23 学級活動	3/14~3/23 学級活動					

10. 高等部の生活

自身の個性を生かし、仲間とともに健康で充実した学校生活を過ごすことを通して、卒業後、自分らしく自立的に生活できるよう、以下の点に重点を置く。

- 自分の考えや意見をもち、話し合う等して学校生活に参画し、主体的に生活できるようにする。
- 心身の健康の保持増進に努め、安全・衛生を含む態度や習慣を身に付けられるようにする。
- 産業現場等における実習を中心に、卒業後の生活を経験し、必要な知識、技能、態度を身に付けられるようにする。
- 社会の一員として生活できるよう、集団生活でのルールを守ると共に、自分の役割を理解し、果たせるようにする。
- 卒業後のより良い生活につなげられるよう、自分のことは自分で考え、行う態度や習慣を身に付けられるようにする。また、家庭や関係諸機関との情報交換を丁寧に行うとともに、生徒の意思を尊重した進路決定ができるようにする。

(1) 学級編成と生徒数

学 年	男	女	計
1 年	7	1	8
2 年	4	3	7
3 年	5	0	5
合 計	16	4	20

(2) 週日課表

曜 時	月	火	水	木	金
9 : 00	登校・着替え				
	個別課題学習・SHR				
9 : 30	朝の運動（保健体育）				
9 : 40					
10 : 15	作 業 学 習				
12 : 00	給食・昼休み				
13 : 00	児童 生徒会 (月2回)	※1	スポーツ（保健体育）・職業／ 家庭・音楽・美術 総合的な探求の時間		
13 : 50		※2	社会生活・暮らし		
14 : 20	チャレンジタイム (国語、数学等／自立活動)				
14 : 30	清掃				
15 : 00	着替え・SHR				
	下校				

※1 諸行事や時期により、重ならないように設定

※2 月1回程度設定

(3) 一日の生活の流れ

① 登校・着替え（～9：00）

登校後、連絡帳を出すなど自分の荷物を整理し、着替えをする。

② 個別課題学習・SHR（9：00～9：30）

個別課題学習では、生徒の実態に応じた弁別課題や読み・書き・計算などの学習やクラスの係活動に取り組む。SHRでは、出欠の確認や健康観察、日程の確認を行う。

③ 全校朝会（毎月2回程度 月曜日9：40～10：15）

内容は、小学部の項に同じ（p9参照）。

④ 朝の運動（火～金曜日 9：30～10：15 ※全校朝会のない月曜日にも行う）

内容は、中学部の項に同じ（p12参照）。

⑤ 作業学習（10：15～12：00）

高等部生活の中心の活動である。作業班は、木工班、農耕班、工芸班の3班からなる。学年・学級をこえた、いわゆる縦割りで編成する。生徒の希望や個性、作業班の実情などを考慮して所属を決定する。

各作業班とも、それぞれに主要な製品・生産物を定め、年間、ほぼ恒常的に取り組んでいる。生徒が目当てや見通しをもち、意欲的・主体的に取り組めるよう、時期ごとにテーマを設定し、活動にまとまりや節目をつけて、展開するようにしている。

どの作業班も、完成度の高い製品やよりよい生産物を作ることに努めている。また、製作・栽培活動を中心に、原材料の注文や購入、販売活動や会計処理にも積極的に取り組み、一連の流れを生徒が主体となって運営できるようにしている。

農 耕 班 学校敷地外に畑を借り、無農薬でジャガイモ、ダイコン、ホウレン草等を季節ごとに栽培している。ポップコーン等の加工品作りにも取り組んでいる。

工 芸 班 織り機で布を織り、ポーチ、コインケース、トートバッグ等を作っている。また、本草を加工したキーホルダー、コードクリップ等の製作に取り組んでいる。

木 工 班 小物入れ、折りたたみテーブル、コースター等を作っている。道具、補助具、工程を工夫し、力を合わせて、より良い製品の製作に努めている。

⑥ 給食・昼休み（12：00～13：00）

運搬・配膳等を協力して行い、各学級に配膳した後、学級ごとに給食をとる。

⑦ 児童生徒会（毎月2回程度 月曜日13：00～13：50）

内容は、小学部の項と同じ（p9参照）。

※⑧～⑬は児童生徒会のない月曜日及び火～金の13：00～13：50に、諸行事や時期に合わせ、題材化して取り組む

⑧ スポーツ

ボッチャ、サッカー、グラウンドゴルフ、バスケットボール、フロアホッケー、水泳、フライングディスク等、豊かなスポーツライフの実現につながるよう2グループに分かれて様々な競技や種目に取り組む。

⑨ 職業／家庭

「産業現場等における実習」に向けての準備に加え、働くことの意義や役割を理解することに重点を置き、賃金とその使い道、余暇の過ごし方、日常生活で使う道具・器具の使用、掃除など、将来の生活に必要な活動に学級やグループ単位で取り組む。

⑩ 音楽

時期や諸行事と関連させて合奏やダンス、手話を交えた合唱などに学級単位で取り組む。

⑪ 美術

時期や諸行事と関連させて素材とじっくり関わる造形や絵画などに学級単位で取り組む。

⑫ 総合的な探求の時間

宿泊学習、修学旅行に向けた学習活動、キャリアパスポート作成に関する学習活動、地域や大学との交流、SDGs等の時事に関する学習活動など、それぞれの興味関心、テーマ等に合わせて課題解決型の活動や探究的な活動に取り組む。

⑬ 社会生活・暮らし（毎月1回、年間10回程度）

卒業後の生活を見据え、心身の健康や発達、病気の予防や健康的な生活、望ましい人との関わり方、情報、主権者教育、余暇生活の在り方等について学習する。

⑭ チャレンジタイム（月～金曜日13：50～14：20）

主として、個別課題を中心とした学習を行う。生徒の実態や課題、ニーズ等に応じた弁別課題や読み・書き・計算などの学習をしたり、手指の巧緻性を高める、認知・コミュニケーションの力を高めるための学習に取り組んだりする。期間により、学級で集団での学習にも取り組む。

⑮ 清掃・着替え・SHR（14：20～15：00）

各教室、集会室、トイレなど担当場所の清掃を行う。清掃の終わった生徒は、下校に向けて着替え・荷物整理等を行う。帰りのSHRでは、一日の振り返り、翌日の日程確認等を学級で行う。

⑯ 道徳（教育活動全般）

生徒の実態に応じて、他者とよりよく生きるための道徳性を身につけられるようにルールやマナー、伝統や文化等について家庭と連携しながら取り組む。

(4) 学級活動等

学校全体で取り組む生活単元学習「運動会」や、学部行事「宿泊学習」「修学旅行」「歩く合宿」、学校行事「ふよう祭」に向けた取り組みを各行事に合わせて全学部縦割りグループや学級、学部全体などで取り組む。また、1・2年生は「送別会」、3年生は「卒業に向けて」それぞれの学級で取り組む。

(5) 産業現場等における実習

実習の場を、企業や福祉事業所等に設定し、卒業後の働く生活を目指して、より実践的な働く力を身につけることを主たる目的とする。

- 原則として、実習先事業所の勤務条件に合わせて実習を行う。
- 原則として、前期、後期ともに一人1事業所とし、担任は巡回訪問する。
- 期 間

6月	2週間	2・3年生（1年生は校内実習）
9・10月	2週間	全学年
適宜		各学年で必要とされる生徒に限って随時行う

(6) 一年間の学校生活

月	作 業 学 習			学級活動等	行 事 等
	木 工 班	農 耕 班	工 芸 班		
4	※4/14~5/28 「新しい作業に慣れよう」他			4/28~5/18 運動会	前期始業式 (4/7) 入学式 (4/8) 新入生歓迎会(4/13)
5					運動会 (5/15)
6	(2・3年生：産業現場等における実習・1年生：校内実習)				
7	6/16~7/15 「納品や販売会に向けて (仮)」			7/1~7/12 宿泊学習に向けて	3年修学旅行 (7/6~9) 2年宿泊 (7/7~9) 1年宿泊 (7/8~9)
8	(7/17~8/25 夏休み)				
9	8/30~9/24 「納品や販売会に向けて (仮)」			8/27~9/14 歩く合宿に向けて	歩く合宿 (9/7~10)
10	(産業現場等における実習) (10/14~10/17 秋休み)				
11	10/19~11/22 「ふよう祭に向けて」				ふよう祭 (11/13)
12	11/24~12/20 「納品や販売会に向けて (仮)」				
	(12/23~1/6 冬休み)				
1	1/13~1/31 「納品や販売会に向けて (仮)」				
2	2/1~3/3 「3作業班合同販売会にむけて」			3/4~3/8 3年：卒業に向けて 1・2年：送別会	公開研究会 (2/19) 3作業班合同販売会 (2/26) 作業納会 (3/3)
3					3/15~3/23 進級に向けて

※作業班の单元テーマは、年度当初の予定 (仮) である。

11. 進路・移行支援年間計画

注 年度当初の予定

*以下、表中の「○」は、対象者を示します。産業現場等における実習は、「現場実習」と記載します。

月	日・曜	内 容	小学部	中学部			高等部			卒後	
				1年	2年	3年	1年	2年	3年		
4	1 (木)	アフターケア① (電話〈新卒生〉)								○	
	上旬	アフターケア② (電話〈2～3年目〉)								○	
		関係機関挨拶					○	○	○		○
	5 (月)	進路・移行支援委員会①									
	30 (金)	進路保護者会① 進路アンケート配付	○	○	○	○	○	○			
5	26 (水)	進路・移行支援委員会②									
	28 (金)	進路保護者会② 実習に向けて	○	○	○	○	○	○	○		
		実習激励会	○	○	○	○	○	○	○		
	31 (月)～ 6/11 (金)	高等部1年 校内実習 高等部2・3年 前期現場実習					○	○	○		
6	1 (火)～ 11 (金)	前期現場実習 巡回指導					○	○	○		
		アフターケア③ (訪問)								○	
		職場開拓					○	○	○		○
	16 (水)	高等部 実習報告会	○	○	○	○	○	○			
	22 (火)～ 25 (金)	高等部 進路面談					○	○	○		
	22 (火)～ 23 (水)	小 学校見学会									
	24 (木) 25 (金)	中 学校見学会 高 学校見学会	○			○					
7	中旬～	職業相談・登録 (ハローワーク主催)								○	
	16 (金)	進路・移行支援委員会③									
	夏期休業中	進路研修① (職員向け)									
		「父の樹会」施設見学会									
		職場開拓 (訪問)					○	○	○		○
		アフターケア④ (電話・訪問)									○
	居住地における職場・施設見学	○	○	○	○	○	○	○			
8	下旬	進路研修② (職員向け)									
9	24日 (金)	高等部 実習激励会	○	○	○	○	○	○	○		
		中学部 実習激励会	○	○	○	○	○	○	○		
		進路・移行支援委員会④									
10	9/27 (月)～	高等部 後期 現場実習 (～8日)					○	○	○		
	10/8 (金)	中学部 現場実習 (～8日)		○	○	○					
		アフターケア⑤ (電話・訪問)								○	
	12 (火)	中学部・高等部 実習報告会	○	○	○	○	○	○	○		
	22 (金)	進路保護者会③	○	○	○	○	○	○	○		
11	17 (水)	進路・移行支援委員会⑤									
12	5 (日)	父親向け進路保護者会	○	○	○	○	○	○	○		
	22 (水)	進路・移行支援委員会⑥									
1	19 (水)	進路・移行支援委員会⑦									
2	上旬～	進路手続き								○	
	24 (木) (随時)	進路・移行支援委員会⑧ 移行支援会議								○	
3	上旬～	進路面談 (高1～2年)					○	○			
	18 (金)	進路・移行支援委員会⑨									

*アフターケアは、訪問、電話連絡等を随時行う。

12. 卒業・修了生の進路

(1) 卒業・修了時の進路

高等部の数は途中修了生を含む

卒業年度	性別		小学部				中学部				高等部				途中修了 (内数)		
	男	女	計	男	女	計	卒業時の進路				男	女	計	卒業時の進路			
							就	高	施	他				就		施	他
昭48～49	6	8	14	14	15	29	17	8	1	3							
50	2	4	6	5	3	8	4	4	.	.							
51	4	2	6	4	4	8	4	4	.	.	1	5	6	3	2	1	.
52	1	3	4	2	3	5	2	3	.	.	3	3	6	4	1	1	.
53	1	2	3	4	4	8	2	6	.	.	4	2	6	4	2	.	.
54	2	2	4	6	3	9	5	3	.	1	2	3	5	4	1	.	.
55	3	2	5	3	5	8	3	5	.	.	4	2	6	4	2	.	.
56	1	1	2	4	2	6	3	3	.	.	7	4	11	8	3	.	.
57	2	1	3	4	2	6	2	4	.	.	4	4	8	3	4	1	.
58	1	1	2	4	2	6	2	4	.	.	4	6	10	9	1	.	.
59	3	.	3	5	3	8	3	5	.	.	10	3	13	11	2	.	(2)
60	1	2	3	4	3	7	.	7	.	.	4	3	7	7	.	.	.
61	2	.	2	5	2	7	2	4	1	.	9	1	10	9	1	.	(1)
62	2	2	4	5	2	7	1	6	.	.	8	3	11	7	4	.	(2)
63	2	1	3	4	3	7	1	6	.	.	5	4	9	6	1	2	.
平成元年	1	2	3	5	1	6	2	4	.	.	5	3	8	7	1	.	(2)
2	2	.	2	5	3	8	.	8	.	.	7	4	11	9	2	.	(2)
3	3	.	3	5	2	7	1	5	1	.	5	5	10	4	6	.	.
4	3	1	4	4	4	8	3	4	1	.	7	4	11	8	3	.	(3)
5	3	.	3	6	1	7	1	6	.	.	7	3	10	4	3	3	(2)
6	1	2	3	5	2	7	1	6	.	.	7	3	10	4	5	1	(2)
7	2	.	2	4	2	6	1	5	.	.	5	4	9	6	3	.	(1)
8	1	2	3	7	1	8	.	8	.	.	14	2	16	10	6	.	(5)
9	.	2	2	2	4	6	.	6	.	.	8	4	12	6	6	.	(1)
10	2	2	4	5	1	6	.	5	1	.	8	3	11	5	6	.	(1)
11	3	.	3	3	5	8	.	7	1	.	13	3	16	6	10	.	(2)
12	4	.	4	5	3	8	.	8	.	.	7	5	12	6	3	3	(2)
13	1	1	2	4	3	7	1	7	.	.	7	4	11	4	6	1	(1)
14	3	1	4	7	.	7	1	6	.	.	4	6	10	4	6	.	(1)
15	1	.	1	8	1	9	.	9	.	.	13	4	17	11	6	.	(4)
16	1	2	3	3	2	5	.	5	.	.	6	6	12	7	5	.	(1)
17	4	.	4	7	3	10	.	10	.	.	8	0	8	6	2	.	(1)
18	4	.	4	2	1	3	.	3	.	.	12	2	14	7	7	.	(1)
19	1	.	1	3	2	5	.	5	.	.	10	3	13	8	5	.	(2)
20	1	3	4	6	1	7	.	7	.	.	10	3	13	4	9	.	(2)
21	1	1	2	5	2	7	.	6	.	1	4	3	7	2	5	.	.
22	3	.	3	6	.	6	.	6	.	.	8	4	12	8	4	.	(1)
23	3	1	4	3	4	7	.	7	.	.	9	1	10	4	6	.	.
24	2	.	2	6	2	8	.	8	.	.	9	2	11	3	7	1	.
25	3	.	3	4	1	5	.	5	.	.	10	2	12	4	8	.	.
26	3	.	3	6	2	8	.	8	.	.	6	5	11	3	8	.	.
27	2	.	2	6	.	6	.	6	.	.	7	3	10	5	5	.	.
28	1	2	3	6	.	6	.	6	.	.	6	2	8	2	6	.	.
29	1	.	1	5	1	6	.	6	.	.	6	3	9	3	6	.	.
30	1	1	2	3	.	3	.	3	.	.	8	0	8	4	4	.	.
令和元年	1	1	2	2	3	5	.	4	.	1	6	3	9	0	9	.	.
2	2	1	3	4	0	4	.	3	.	1	6	2	8	1	7	.	.
合計	97	55	153	225	110	338	66	264	6	6	313	144	457	244	199	14	(42)

※就→就職 高→高等部 施→通所施設等 他→家業・家事

(2) 就職後の動向

高等部の数は途中修了生を含む

年度	中学部						高等部					
	卒業時	現在	増減	離職先			卒業時	現在	増減	離職先		
				家庭	作業所	施設				家庭	通所施設等	他
30	0	0	±0	.	.	.	4	3	-1	.	1	.
令和元	0	0	±0	.	.	.	0	0	±0	.	.	.
2	0	0	±0	.	.	.	1	1	±0	.	.	.

13. 卒業生への対応

卒業生への対応として、卒業前に全員を対象とした移行支援会議を開き、スムーズな移行支援ができるように努めている。卒業後は様々な問題に対応するため、進路・移行支援委員会を設けて活動しているほか、夏期休業中には全職員で卒業後3年までの卒業生を対象にアフターケアを実施している。

- ① 移行支援会議（学校・保護者・進路先・行政・相談支援機関などが参加）
 - ・全卒業生を対象に実施してスムーズな移行を目指す。
 - ・移行支援計画を元にして情報の共有や意見の交換を行う。
- ② 進路・移行支援委員会
 - ・卒業生の様々な相談等に応じる。
 - ・関係各機関と連絡、調整を行う。
- ③ アフターケア（定期）

	4月	前期産業現場等における実習期間	後期産業現場等における実習期間
卒後1年目	訪問によるアフターケア	訪問によるアフターケア	訪問によるアフターケア
卒後2年目	電話によるアフターケア	電話によるアフターケア	電話によるアフターケア
卒後3年目	電話によるアフターケア	電話によるアフターケア	電話によるアフターケア
担当	進路指導主事	進路指導主事	進路指導主事

*随時、必要に応じて訪問によるアフターケアを実施している。

14. 児童生徒の入学募集等

(1) 募集人員（定員）

- 小学部第1学年 3名
- 中学部第1学年 6名
- 高等部第1学年 8名

定員を超えて、入学者を受入れることがある。

年度によって、他の学年についても若干名募集することがある。

(2) 応募資格

- ① 知的発達に障害のある幼児児童生徒で、特別支援教育が適切と判断される者。
- ② 保護者と居住し、家庭から通学できる者。

(3) 募集時期

小学部、中学部、高等部とも後期11月（予定）。応募書類の配布、応募書類の受け付け、入学調査などの日程については、6月に公示し、10月に志願者説明会を実施する。

(4) 入学者選考

毎年11月下旬に行っている。遊び、運動、作業の様子や行動観察などによる調査を実施し、入学候補者を決定する。

(5) 入学・教育相談

入学も含めた教育相談については、年間を通じて常時受け付けている。事前に電話等で相談日を決めて行う。必要に応じて体験入学（半日、一日）も実施している。

(6) 学校見学会

本人、保護者、教育関係者を対象に学校見学会を6月に実施し、学校全体や各学部の様子を見学する機会を設けている。

(7) オープンスクール

9月にオープンスクールを実施し、学校概要の説明や実際の授業の参観をする機会を設けている。

(8) 土曜スクール

知的発達に障害のある近隣の幼児・小学生を対象に、本校の活動を体験する機会を設けている。

15. 学校運営組織

(1) 教職員等

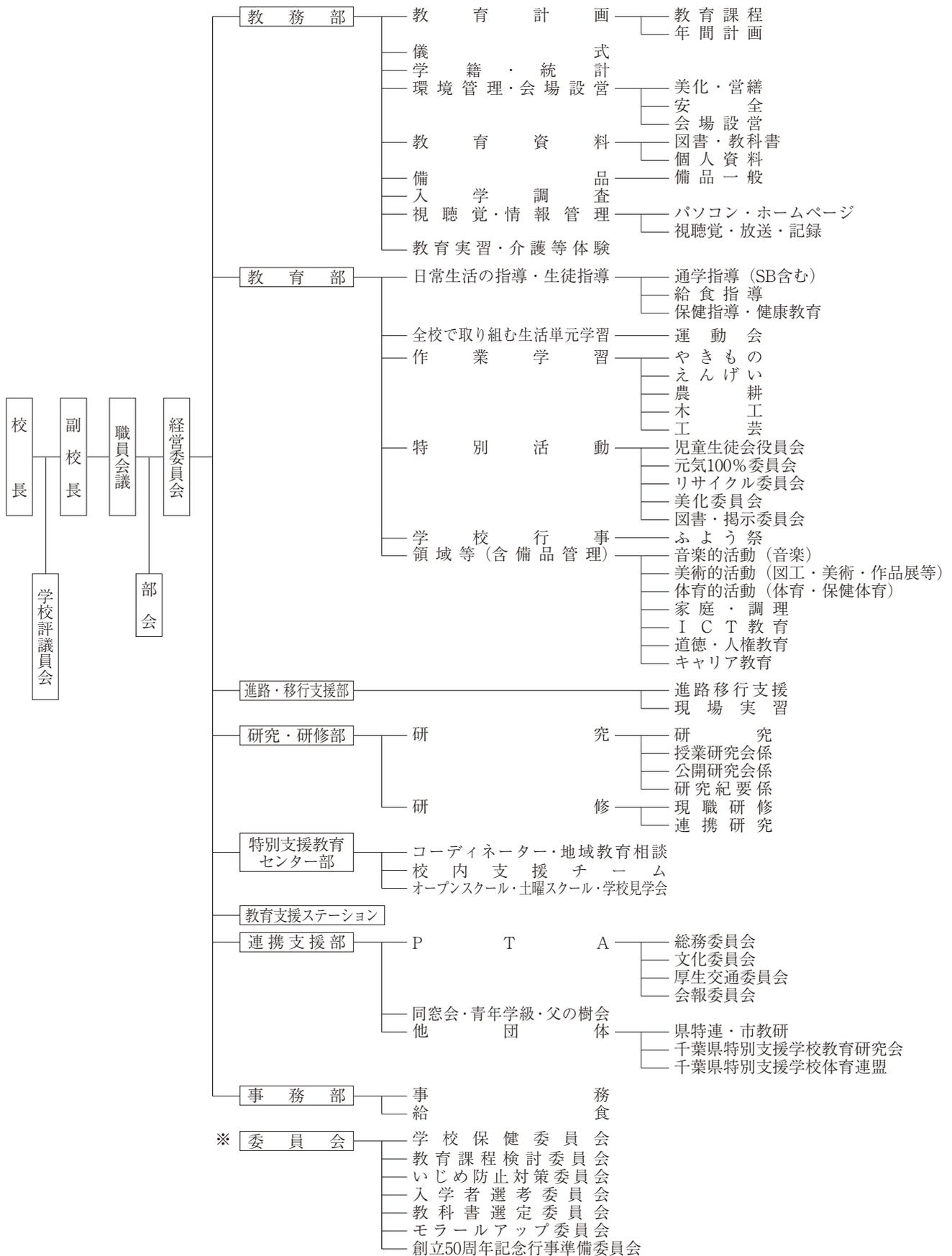
校 長	細 川 かおり
副 校 長	中 山 忠 史
教 諭	野 村 知 宏
教 諭	名 取 幸 恵
教 諭	上 原 優 太
教 諭	丹 野 祐 介
非常勤講師	宮久保 月 子
教 諭	菅 原 宏 樹
教 諭	常 川 睦
教 諭	菅 悠 彦
教 諭	濱 野 夏緒李
教 諭	高 橋 良 育
教 諭	川 崎 麻 琴
教 諭	土 屋 貴 弘
教 諭	熊 谷 亜由未
教 諭	安 田 貴
教 諭	古 滝 達 也
教 諭	大和田 久 絵
教 諭	佐久間 智 大
教 諭	佐々木 大 輔
教 諭	畝 本 実 咲
教 諭	小 林 寛 子
教 諭	大 島 貴 典
教 諭	福 田 智香子
教 諭	上 面 拓

教 諭	片 倉 喜 朗
教 諭	佐 藤 昌 史
教 諭	新 妻 翔太郎
特任専門職員	チャンゴックチャミー
特任専門職員	田 場 優 子
養 護 教 諭	濱 村 純 子
係 長	島 津 俊 長
主 任	小 島 規 子
栄 養 士	植 村 浩 美
技能職員(再雇用)	及 川 記 子
技能補佐員	梅 本 裕 美
技能補佐員	澤 幡 裕 子
労務補佐員	浅 川 昇
スクールカウンセラー	喜 多 友理恵
スクールソーシャルワーカー	山 田 恵 子

学 校 医

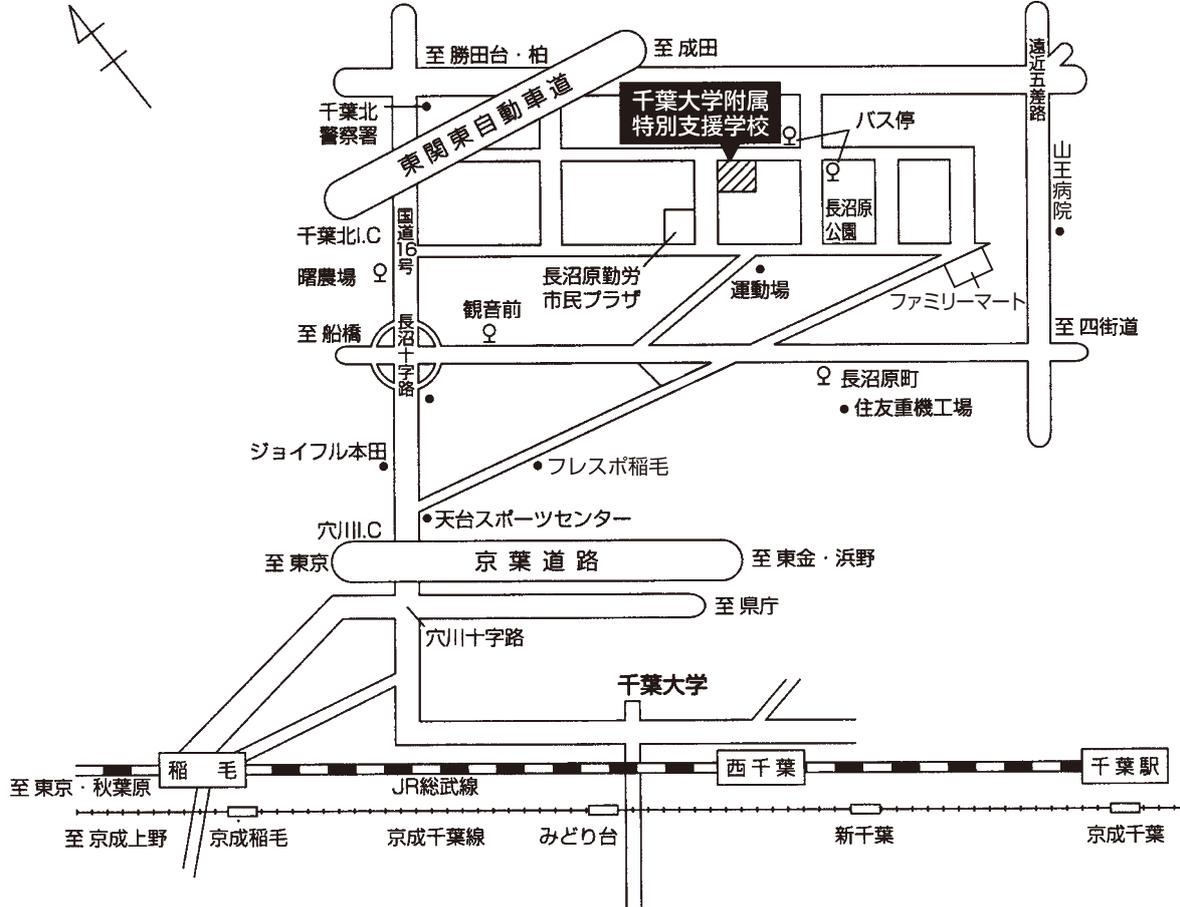
内 科	塩 濱 直
歯 科	坂 本 洋 右
眼 科	横 内 裕 敬
耳 鼻 科	米 倉 修 二
精 神 科	花 澤 寿
整 形 外 科	木 村 青 児
整 形 外 科	井 上 雅 俊
学校薬剤師	櫻 田 大 也

(2) 校務分担



16. 学校周辺案内図

所在地 千葉市稲毛区長沼原町312番地
 電話 043 (258) 1111(代)
 F A X 043 (258) 9303



交通機関

- J R 稲毛駅下車 京成バス 稲毛区役所経由 山王町行
 (快速停車) 長沼原公園下車 徒歩3分
- J R 四街道駅下車 千葉内陸バス 草野車庫行
 長沼原町又は観音前下車 徒歩15分
- 京成・東葉高速
 勝田台駅下車 千葉内陸バス スポーツセンター行
 曙農場前下車 徒歩15分

